

スタート!! 鶴里駅2番出入口

村上社のクスノキ→八幡社(桜田勝景跡・貝塚跡)→見晴台考古資料館→笠寺観音→富部神社→清水稲荷・長楽寺→呼続公園→白毫寺→熊野三社→安泰寺
ゴール!! 新瑞橋駅8番出入口

スタート 鶴里駅

駅長室 ☎052-825-1277

ゴール 新瑞橋駅

プレゼントについて

プレゼント番号(下1ケタ)が当選番号と一致した方に、コース沿線の...

・あらたま商店街様 ・アリーナシティ様
・エイデン新瑞橋店様 ・フジパン様

より提供の記念品をいずれかひとつプレゼント!

プレゼント番号

※記念品の種類は選べません。

ご参加の皆様へ

- ◆コースをむやみにはずれないようにしましょう。
- ◆ゴールでスタンプを押し、参加賞を受取りましょう。
- ◆速さを競うものではありません。各自のペースで楽しく歩きましょう。
- ◆交通ルールを守り安全に歩きましょう。特に踏み切りの横断の際は、十分注意をしましょう。
- ◆歩道を横に広がって歩かないようにしましょう。
- ◆住宅街の中を歩く時は、静かに歩きましょう。
- ◆ゴミは必ず各自で持ち帰りましょう。
- ◆歩きながらの喫煙など、他人の迷惑になる行為を避け、マナーを守りましょう。
- ◆自然や動植物、歴史的建造物を大切にしましょう。
- ◆イベント参加中の事故については責任を負いかねますのでご了承ください。

ゴール!

地下鉄 新瑞橋駅
8番出入口から
地下に下りましょう!

車に注意!!
十分注意して
渡りましょう。

熊野三社を通り抜け、路地を通り、
線路を見下ろす橋を通りましょう。

熊野三社

境内には「松巨嶋(まつこじま)の銘」と「明和三丙戌五月」と刻まれた手洗石があり、昔この地が松巨嶋と称された海中にあったことの由来を伝えている。

清水稲荷・長楽寺

長楽寺には、盲導犬サーブも眠る
盲導犬の慰霊碑がある。

富部(とべ)神社

別名「蛇毒神社」、「戸部天王」ともいう。本殿は、よく桃山様式を伝え、国の重要文化財である。

特典



市指定有形民俗文化財
「高砂車山車」特別公開!!

踏切注意!!
十分注意して
渡りましょう。

笠寺観音(笠覆寺)

尾張四観音の一つ。節分や六の市(毎月6日、16日、26日)は大変なにぎわいを見せる。境内には松尾芭蕉の句碑や宮本武蔵の碑など文化財も多い。

急なのぼり坂。
手すりあり。



見晴台考古資料館

復元された竪穴式住居は見もの。
(見学無料)

※ウラ面に拡大図あり。

スタート!

地下鉄 鶴里駅
2番出入口から
地上に上がりましょう!

←公衆トイレ

清潔に利用しましょう。
※印は大まかな位置を示しています。地下鉄駅構内にもトイレがあります。ご利用ください。

村上社のクスノキ

市の天然記念物に指定された、
樹齢千年を超えるクスノキ。

八幡社(桜田勝景跡・桜田貝塚跡)

このあたりは、万葉の頃から歌に詠まれた景勝地。また、全国的にも珍しい「魚形土器」が出土した貝塚跡もある。

呼続公園

公園を中心にした一帯は、縄文晩期から中世までの曾池遺跡である。池のほとりには、源頼朝公が旗を掛けて休んだと伝わる旗掛けの松がある。

注意!!
信号がありません。注意して横断してください。



駅ちかウォーキングには、
ミズノ株式会社が協賛しています。

見晴台考古資料館～笠寺観音 拡大図

至
商店街

至 八幡社

①見晴台考古資料館

見晴台遺跡や市内の他の遺跡の発掘調査を行い、調査の成果や出土したものを展示している。映画会や講演会なども定期的に行われており遺跡の保存と活用の場として重要な役割を果たしている。(見学無料)

次にお越しの際は・・・

市バス「笠寺西門」下車 東へ徒歩7分 または
地下鉄 桜通線「鶴里」駅下車 南西へ徒歩15分
市バス・地下鉄でお出かけください。

笠寺観音

①

見晴台考古資料館

②

住居跡観察舎

③

⑤

⑤弥生の森

弥生時代の生活に関係の深い樹木を植栽したもので、ヤマモモ、スタジイなどが植えてある。

③高射砲の台座

太平洋戦争中に高射砲の陣地となり、当時の高射砲の台座が現在も残っている。

④濠再現コーナー

弥生時代の濠跡の一部を再現したもの。

②住居跡観察舎



見晴台遺跡で調査された遺構を原寸大で展示し、うち1軒は竪穴式住居の上屋が復元してある。

現在は、開館以来30年間に行なった発掘調査の成果の中から、重要性の高い資料を厳選して紹介する特別展「なごや考古学百景」を開催しています。

期間：平成22年1月24日まで
(展示替をはさむ)

笠寺観音（笠覆寺）

笠寺観音は正式名を「天林山笠覆寺(てんりんざんりゅうふくじ)」といい、甚目寺・荒子・竜泉寺とともに尾張四観音のひとつとして古くから親しまれてきました。

もとは小松寺といい、天平年間(729年頃)に僧禅光が開きましたが、その後荒廃し、延長8年(930年)に藤原兼平(関白藤原基経の三男)がこの地に復興し笠覆寺と名付けられました。

当寺には、国の重要文化財をはじめとして、県指定文化財、境内に芭蕉句碑や宮本武蔵の碑などの史跡や文化財が多数あります。また、節分や六の市(毎月6日、16日、26日)は大変なにぎわいも見えます。



また、笠寺観音は、泉増院・東光院・西方院とともに、現在も残る「笠寺十二坊」のうちのひとつです。

玉照姫伝説

もと美濃国の豪族の娘 玉照姫は、あまりの美しさゆえ不運な運命に巻き込まれ、鳴海の長者の召使いとなってしまいます。

不遇な生活を送りながらも、玉照姫は決して希望を捨てません。いつも呼続の里の街道わきにあった観音像にお祈りしていました。

ある雨の日、すぶぬれになっていた観音像に自分の笠をかぶせてあげた玉照姫は、たまたま通りかかった藤原兼平に出会います。

兼平は心優しい玉照姫を見初めてプロポーズ、めでたく二人は結婚し、京で幸せになったのでした。

「玉照姫伝説」は南区に古くから伝わる有名なお話で、笠寺の地名の由来になったものです。

次回の **駅ちかウォーキング** は、

10/17(土) 開催!

「秋の行楽!!

天白公園から農業センターへ」

地下鉄 原駅をスタート。みどり豊かな公園をめぐり、農業センターで実りの秋を感じましょう!

当日は、参加者のみの特典として、コース沿線の荒木集成館において入場料の割引があるほか、農業センター内の「ミルク工房売店」において、割引価格でアイスクリームを販売!

さらに!!

「原駅前商店街」「原南商店街」「平針駅前商店街」よりご提供いただいた記念品を、抽選でプレゼント!!

ぜひご参加ください!

**駅ちかAUTUMN2009に
4回以上参加された方に、
特製ピンバッジをプレゼント!
引換は、10/17(土)以降
開催のゴール会場にて行います。**